



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

Y'S MEN'S CLUB OF NARA

C/O NARA YMCA, 2 Saidaiji Kunimi-cho, Nara Japan Tel. 0742-44-2207

CHARTERD SEPT. 14TH. 1950

ホームページ: <http://uchidakaiki.com/narawaizu/index.htm>

国際会長 主題: 私たちの未来は、今日から始まる Our Future Begins Today

アジア会長 主題: ワイズ運動を尊重しよう Respect Y's Movement

西日本区理事 主題: ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を!

Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit!

阪和部長 主題: ワイズの種を蒔こう。そして育て・実りの収穫を!

会長: 前田 敏宏

副会長: 黒田 幸司

書記: 佐々木みどり

会計: 平井 高井

直前会長: 太村 孝江

次期会長: 黒田 幸司

ネット会長: 前田 未帆

2月
2017年

ブリテン
編集委員

内田 勝久

辻野 啓一

平井 洋三

林 佑幸

佐藤 由佳

クラブ会長標語: 「ワイズミッションとともに」

2月 例会

とき 2017年2月13日(月) 19:00~21:00

ところ あきしの保育園

<プログラム> 司会 平井 洋三

1. 奈良クラブの歌 [今、心は少年少女]

2. 開会点鐘 会長

3. ワイズソング

4. 聖書・祈祷

5. ゲスト・ビジター紹介

6. 食前感謝

7. 卓話

講師: 大森 龍一郎 様

テーマ 『NHKの番組製作と奈良の仏像〜番組「落語でブッダ」をめぐって〜』

8. 誕生日・結婚記念日のお祝い

9. YMCA ニュース

10. インフォメーション

11. YMCA の歌

12. 閉会点鐘 会長



[月刊強調テーマ]

TOF・CS・FF

[今月の聖句]

「イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、二人の兄弟、ペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが、湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。イエスは、『わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう』と言われた。二人はすぐに網を捨てて従った。」

マタイによる福音書4:18-20

日本聖公会奈良基督教会 司祭 井田 泉

最初の弟子二人がイエスに招かれて従う場面です。ここで「イエスが……御覧になった」という言葉に注目しましょう。イエスのまなざしは、真心と愛(深い思いやり)に満ちていたに違いありません。そのまなざしのゆえに、二人はイエスを信頼したのです。私たちは人にどのような目を向けているか、考えさせられます。

2016年1月度クラブ統計

在籍会員 23名	メネット 8名	
例会出席 19名	コメント 0名	ニコニコ献金
うち(メーキャップ 2名) (功労会員 1名)	ゲスト 0名	1月度: 0円
出席率 81.8%	ビジター 1名	累計: 434,623円



例会 2月13日(月)19:00~21:00 あきしの保育園

役員会 2月27日(月)19:00~21:00 奈良YMCA

出席第一・親睦・協力奉仕

会長通信

会長 前田 敏宏



そうだ、礼拝に出よう。そんなことを今、思っています。

ボーンクリスチャン (born christian) という言葉があるそうです。いわゆる クリスチャンホームに生まれ育った者 (つまり、自らキリスト信仰を求めてクリスチャンになったわけではない) のことをあらわすそうです。私と妻はともにそのように育ちました。(※ただし、私の方は代々というわけではありませんので、仏壇も神棚もある家庭でしたが。) 同じような境遇の周りを見渡す限り、そういう方には「敬虔な信者」というよりもキリスト教を空気のよう感じている方が多いように思います。そして、自分の中にあるキリスト教・教会に対する気持ちが「信仰」というものにあたるのか、そこから迷っている、そんな感じです。

昔から、教会は自分の居場所だけど礼拝にはできる限り出たくない、とっていました。退屈だから、という身も蓋もない理由からです(笑)。大きな声では言えませんのでここだけの話ですが。子どもを連れて行くようになってからは、「おとなの礼拝に出ない子どもの子守」という言い訳を印籠に使い、教会には行っても礼拝にはほとんど出ませんでした。そんな私ですが、年明けからそろそろそういうのをやめにして、「キリスト教」という宗教に自分が魅力を感じるのか感じないのか、向き合ってみようと思い、標記のことを始めております。

なぜそんなことを思ったのかしばらく考えていたのですが、どうもワイズとYMCAがきっかけのようです。ワイズとYMCAは、宗教団体ではなく公益法人・任意団体であるが、キリスト教・キリスト教精神を根幹に持つという矛盾(?)を抱えている、そこに深く関わっていく中で、上述のようなボーンクリスチャンの自分とどこか似たものを感じたようです。

阪和部新年合同例会

1月7日 たかつガーデン



新入会員紹介



3分間スピーチ前田会長
第1位



奈良クラブ参加者全員写真



2次会

「車の自動運転に思うこと」

辻野 啓一

車の自動運転と言っても人によってとらえ方がいろいろあります。しかし、それでは以後の話がややこしいので、ここでは「自動運転とは現在ドライバー(人間)が行っている様々な運転操作を人間の代わりにシステム(機械)が行うこと。」と、しておきます。

ではなぜ今、自動運転の開発が各自動車メーカーやIT企業で活発なのかということですが、開発を始めうる技術レベルに電子制御やソフトウェアの技術が達していることは当然として、開発を進める要因は、まず

1. 世界中で毎年120万人が交通死亡事故に遭っているらしいですが、その事故の93%は、ヒューマンエラーで起こっているという統計があります。つまり車においてもっともエラーが多く信用ならない要素が「運転手」なのです。

例えば、操縦の自動化が進んだ航空機の例では離陸100万回当たりの全損事故件数は1950年代には40便以上であったのが自動操縦技術が熟成した現在は1件以下まで減少しています。

2. 運ぶ人とモノに見合った数のドライバーが確保できない、ということがあります。物流は、鉄道や船舶による大規模集中型輸送から、クルマによる小規模分散型輸送へと変化してきました。ただこれには多数のドライバーが必要なのですが、現在はドライバーの数が不足しています。これが自動運転車ならば、人手の要らない小規模分散型輸送を実現することが可能です。さらに

3. 交通渋滞に伴う経済損失があります。現在渋滞による損失は全国で年間38億人×時間で、金額換算すると12兆円、燃料は年間約4700万リットルが無駄になっています。当然その分CO2の排出も増えています。この渋滞は人がクルマを動かしていることが原因で起こっています。自動運転により動いているクルマ全体の流れを最適化させるインフラとの連携や、車々間通信を使った編隊走行で効率化できるといわれています。

このように、自動運転のメリットはたくさん言われているのですが、私はほかの理由で大きな期待をしています。私は普段態度が大きいので、あまり意識されないかもしれませんが、実は4年ほど前にデビューした身体障害者です。例えば、私と一緒に旅行したら、介護者として交通費は半額、美術館などには無料で入館でき、休暇村は宿泊費が1500円割引などです。このようなことをエサにして若い女性を旅行などに誘う元気はありませんが。

それはさておき、身体障害者は交通弱者、災害弱者です。やはり公共の交通機関は利用しにくく迷惑をかけまいと遠慮がちになります。また、大規模災害が起きた時の避難にも一般の人とは違った不安があります。自動運転技術が実用化されれば、普段の移動や旅行なども楽にできるし、災害時に避難の必要がある場合でも障害者である自分も何とか避難できるでしょう。

また、過疎化が進み電車の数が減ったり廃線になった地域では、自動車が生活する手段となります。地方になるほど車の所有率が高くなりますが、誰でも運転できるわけではありません。運動能力の衰えた高齢者や障害のある交通弱者が1人で移動できるようになる、自動運転には大きな期待をしています。



「キューバに旅して来ました」

中井 信一

「出会いはチャンス」

西口 須現恵

9月末にて3年半お世話になりました(株)呉竹様との契約が完了し、小生にはその卒業旅行でした。小生は、サクラメントから、残りの3名は大阪から成田、トロント経由のキューバの旅でした。今後の皆様の旅のヒントとして小生の感じたキューバのご案内です。

①やはり50年代のUSAクラシックカー、特にオープンカーが観光タクシーとして街中に溢れています。1878年～87年までUSAに駐在していましたが、なんとも嬉しい出会いでした。エンジン、部品やペイントは新しい物でしたが古き良きUSAとの出会いは格別です。②「老人と海」をキューバにて書き上げたヘミングウェイの足跡を訪ねる事も出来ました。特に小生には彼がこよなく愛したラム酒カクテル、モヒートとダイキリを彼が愛した2ヶ所の有名なバーで毎晩飲みました。③ハバナ市内から約140km、車で約2時間の所に位置する「バラデロ」も印象深いビーチリゾートです。仕事や旅行で約40数ヶ国を訪問しましたが、真っ白な砂、透き通った海のブルーは今までで一番美しいと感じました。④葉巻(シガー)大国とも言われています。小生は嗜みませんが至る所に葉巻ショップが有り、目の前で葉巻を巻く職人さんも見る事が出来ました。香りが素晴らしくお好きな方には日本の価格の半分以下の様です。⑤ホームレスが居ない事、治安が良く夜中でも女性の一人歩きが普通に見る事も出来ました。又、町のレストラン、バー等でも生のジャズを楽しむ事が出来ます。

今回もメキシコ、USA、コロンビア、トルコ、ドイツ、アイルランド等の方々と国際・交流を図る事が出来ました。約40年以上国際ビジネスに関わりを持つ事が出来、お世話になった沢山の皆様に感謝です。オヤジ4人「大阪キューバボーイズ」との想い出深い卒業旅行になりました(笑)。

昨年、私の友人が加古川の喫茶店で出会った方より、「くるくるレインボー」と言う何とも楽しいネーミングのおもちゃ?を教えていただき持って帰って来てくれました。

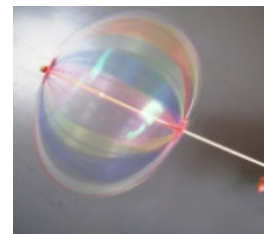
16本のテープが竹ひごを回すと色んな様態に変化していくのです。それを見ていると感動で、久し振りに心がワクワクしてなりません。それからは「くるくるレインボー」をどこに行っても回し続けると皆が本当に喜んでくださいました。

そうすると今度は自分で作ってみたいくなり、聞いていただくと、プロの腹話術師の「ヨッシー花凡」先生を紹介して頂きました。その先生が家に招いて下さり、ついに「くるくるレインボー」を作る事ができました。その時に先生は、腹話術を見せて下さいました。その腹話術を見ると先生の横にいるケンちゃんという人形がまるで、今にも一人立ちして、おしゃべりを始めそうな感じでした。

都跡地区のコーディネーターをしている関係上、地域の方々に先生の腹話術を通して、メッセージを伝えて頂きたいと思い、先生にお願いしました所、快く講演を引き受けて下さいました。

いざ当日を迎え70人近くの方に来て頂く事ができました。子どもたちには①いつも笑顔でいられるように、②いつもプラス思考で、そして③出会いはチャンスであると3つのメッセージを頂きました。まさに先生との出会いは、チャンスであったと心より思いました。

その後も「くるくるレインボー」の作り方の講習会と繋がって来ています。今後も多くの方との出会いに感謝して、人と人との絆を大切にしていきたいと思えます。



くるくるレインボー



奈良クラブ新年会
1月9日 於：百楽



1月例会報告

高井 亮吉

平成29年1月9日(月)、17時半より奈良「百楽」にて本年最初の奈良クラブ新年例会が開催されました。司会進行は私がさせていただきます。慣れない司会でしたが、会長をはじめ、周りの皆様からのフォローがありなんとか大役を果たすことができました。

アカペラでの奈良クラブの歌にワイズソング、ビジター紹介と進み、杉浦メンの乾杯の音頭で新年懇親会がスタートしました。また乾杯後すぐに、先の阪和部新年合同例会にて前田会長がスピーチコンテストにて見事優勝した旨のご報告をさせていただきます。

そして、オークションではいつもの中井・前田コンビに私も加えていただきオークションが催されました、「今年は量より質」と謳っていた献品が続々と落札され、落札総額は28,800円となりました。最後には前田会長の発案で新年の抱負？を指名制により順番に発言していく催しが行われ、普段とはまた一味違った新年例会となりました。ビジターとして大阪サウスクラブの松岡度一メンが参加され総勢26名でのにぎやかな例会となりました。

☆卓話者プロフィール

テーマ：『NHKの番組製作と奈良の仏像～番組「落語でブッダ」をめぐる～』

講師：大森 龍一郎 様

NHK奈良放送局 放送部長

京都生まれ、京都大学法学部卒

主な制作番組：NHKスペシャル「京都五山送り火」

「藪内佐斗司の仏像拝観手引」「平城遷都1300年特別番組」など

1月役員会報告

* 中間決算(案)を承認

* Yサ・地域奉仕・ファンド事業献金(案)については、来月の役員会で継続審議する

* 次年度の会長再選考について。

選考委員会の発足、2月役員会で決定する

* 3月例会 3月13日(月)19時～ あきしの保育園ホール
卓話：山田塾 山田憲正様

* 第2回東西日本区交流会2/4(土)～5(日)14時～東山荘

* 大阪なかのしまクラブ20周年祝会2/11(土)11時～
ホテルグランヴィア大阪

* 次期会長・主査研修会3/18(土)～19(日)大阪コロナホテル

* 名古屋東海クラブ50周年記念例会 5/14(日)12時半～
16時 マリエカリヨン名古屋

2月 誕生・結婚記念日

HAPPY BIRTHDAY



18日 村上 一志

20日 佐々木みどり

20日 辻野 もと子



WEDDING ANNIVERSARY

6日 金子司・泰子



YMCAだより 2月号

連絡主事 村上 一志

皆さま、急激に寒くなってきましたが、体調を崩したりしていらっしゃいませんか？ さて、奈良YMCAからのご報告としまして、まず年末年始に実施いたしましたスキーキャンプ、遠征、スポーツや短期水泳の集中コースを、無事に終えることができました。それぞれのプログラムで、子ども達の笑顔をたくさん見る事ができ、また、ケガなくプログラムを終えられた事に感謝致します。それぞれの活動の様子は、公式Facebookのページにアップしていますので、ご覧頂いて、『いいね!』をよろしくお願ひ致します。

YMCAでは、いよいよ2017年度に向けての準備期間と

なりました。より一層働きを強めるためにも、今後も、ご支援よろしくお願ひ致します。



2月の行事予定

日	曜日	行事内容
1	水	大阪長野クラブ例会
4	土	和歌山紀の川クラブ例会
5	日	第2回東西日本区交流会
7	火	大阪サウスクラブ例会
9	木	大阪堺クラブ例会
13	月	奈良クラブ例会
16	木	和歌山クラブ例会・大阪河内クラブ例会
23	木	大阪泉北クラブ例会
27	月	奈良クラブ役員会